

国連西サハラ住民投票監視団

United Nations Mission for the Referendum in Western Sahara (MINURSO)

設立年月 1991年4月

設立決議 安保理決議690(1991)

展開場所 西サハラ

本部所在地 ラユーン (Laayoune, Western Sahara)

事務総長特別代表 Julian Harston (英国)

司令官 Major General Zhao Jingmin (中国)

活動期限 2008年4月30日まで (安保理決議1783 (2007))

任務

- (1) 停戦監視、モロッコ軍撤退の監視、モロッコ・ポリサリオ (西サハラ解放人民戦線) 両軍の指定地域への限定配置の監視
- (2) 政治犯 (服役者・抑留者) の釈放の保証、捕虜交換の監視、本国帰還プログラムの実施
- (3) 住民投票の有権者の認定と登録、自由・公平な投票の準備と投票結果の公表

経緯・背景

1. 歴史的背景

74年8月、当時の施政国スペインが西サハラの領有権を放棄。翌75年11月、モロッコが非武装で国境を越えて進入しモロッコとモーリタニアによる分割統治が決定 (マドリッド協定)。独立を目指す西サハラ民族解放戦線 (ポリサリオ) と西サハラの併合を主張するモロッコとの衝突が始まった (なお、モーリタニアは79年8月に領有権を放棄し、それ以降、モロッコが単独占領し、現在まで行政管理下においている)。

2. 解決計画

- (1) その後、国連の斡旋努力が実り、国連事務総長は88年、①停戦遵守と、②独立あるいはモロッコへの併合を決める住民投票の実施を内容とする「解決計画」を提案し、両当事者が受諾した。
- (2) 91年4月に正式に停戦が発効したのを受け、同月、安保理はMINURSOの設立を決定し (決議690)、住民投票の結果発表までの間、事務総長特別代表がMINURSOの援助の下に住民投票に関するすべての問題について一切の責任を持つという「解決計画」を承認した。活動は同年9月から開始。
- (3) 94年8月開始された「解決計画」に基づく住民投票のための有権者認定作業は、有権者の範囲を巡る両当事者の意見の対立から、繰り返し暗礁に乗り上げており、現在に至るまで、住民投票の日程すら確定できない状況が続いている。
- (4) 01年、国連事務総長は、西サハラ住民への権限委譲及び5年以内の最終的地位に関する住民投票を内容とする「枠組み合意案」を提案し、当事者間の直接・近接交渉の可能性を探ることとした。
- (5) その後も膠着状態が続いたことから、02年2月の事務総長報告では、①「解決計画」の実施、②「枠組み合意案」再検討、③西サハラ分割案、④MINURSOの撤退の4つの選択肢が提示された。しかし、上記4つの選択肢のいずれも恒久的解決に繋がるものではない、との議論が大勢を占めた。
- (6) 03年5月、国連事務総長は西サハラ住民の自治のための「和平計画」案を提示し、これを受けて安保理は、「和平計画」を支持し、その受入及び実施のため関係者に協議を求めた。しかし、モロッコ政府が、西サハラの独立という選択肢を含む住民投票は受け入れられないと主張していることから、交渉は難航した。

3. 最近の動き

- (1) 国連事務総長による直接交渉の提案
右経緯を踏まえ、06年4月、西サハラの解決策は前提条件なしの当事者間の直接交渉しかないとして、モロッコとポリサリオ戦線を当事者とし、アルジェリアとモーリタニアを近隣諸国として加える交渉を国連の傘下で行うことを提案した (S/2006/249)。また、同年10月、当事者が西サハラ人に自決 (self-determination) を提供する、公正、持続的かつ相互に受入可能な政治解決を達成するため、前提条件なしで交渉に入り、近隣国 (アルジェリア及びモーリタニア) も右交渉に参加することを改めて提案した (S/2006/817)。
- (2) 07年4月30日、安保理は、西サハラ問題の解決のため、当事者 (モロッコ及びポリサリオ戦線) に前提条件なしで交渉に入るよう要請するとともに、MINURSOの展開期限を07年10月31日まで延長すること等を決定した (決議1754)。
- (3) 07年6月18~19日、国連事務総長の呼びかけに応じ、ファン・ワルスム特使主導の下、当事者 (モロッコ及びポリサリオ戦線) 及び近隣国 (アルジェリア及びモーリタニア) の参加を得た直接交渉が行われ、同年8月10~11日には第二回直接交渉が行われた。

派遣規模 (2007年8月31日現在)

軍事監視要員195名、部隊要員28名 文民警察要員6名

要員派遣国 (同上)

アルゼンチン、オーストラリア、バングラデシュ、中国、クロアチア、デンマーク、ジブチ、エジプト、エルサルバドル、フランス、ガーナ、ギリシャ、ギニア、ホンジュラス、ハンガリー、アイルランド、イタリア、ケニア、マレーシア、モンゴル、ナイジェリア、パキスタン、ポーランド、ロシア、スリランカ、ウルグアイ、イエメン

犠牲者数 (2007年9月30日)

15名 (事故10名、病気4名、その他1名)